

松本会長が「旭中」受章

秋の叙勲

医療機器業界への貢献で

政府は、このほど「〇七年秋の叙勲」受章者を決定し、発令した。医療機器業界からは、元日本医療機器関係団体協議会（現日本医療機器産業連合会）会長の松本謙一サクラ

精機会長（写真）が栄えある「旭日中綬章」を受章した。

松本会長は業界主要団体の公職にあつては、医療機器業界の健全な発展に寄与。医療機器の供給を通して、



国民の保健衛生の向上に貢献した。

また、欧米の医療機器業界団体関係者らと親しい交友関係を築き、国際親善にも尽力。これら功績により、平成八年秋に「藍

綬褒章」を受章している。

一方、医療機器製造販売業者としては、サクラ精機を含む、サクラグループ各社を統括。「病理・細胞診断・免疫」と「感染防止」洗浄・滅菌」の両分野で世界的に事業を展開し、人類の健康と福祉の増進に努め、医学水準の進歩に高い功績を残した。

今回の叙勲受章にあたり、松本会長は「このたび、はからずも叙勲の栄に浴し、心から光栄に存じております。これもひとえに皆さま方の日ごろのご指導、ごべんたつによるものと感謝申し上げます。このうえは健康に留意し、さらなる精進に励み、微力ながら世の中のお役に立てるよう努力を続けていく所存です」と述べている。



NPO法人 先端医療福祉開発研究会